

専門教育コースの教育理念と教育目的 専門教育コースのディプロマ・ポリシー 専門教育コースのアドミッション・ポリシー
 専門教育コースのカリキュラム・ポリシー

専門教育コースの教育理念と教育目的

教育理念

本コースは、農林水産業を行う「地域」の生物生産基盤と生活基盤の「環境」を、持続可能な状態に創造・保全・管理するため、主として「工学」的手法を駆使し、地域資源の活用により、自然と人間が調和した循環型社会の構築と地域社会並びに国際社会の発展に貢献できる人材を養成することを教育の理念としています。



教育目的

1. 地球および地域の環境に調和した持続可能な生物生産活動と地域の活性化のため、農山漁村等の生物生産基盤の整備・開発に関する基礎的な知識と技術を習得させる。
2. 地域の生活環境を豊かな緑地・親水・生活空間として創造・保全するための計画・設計・施工・管理に関する基礎的な知識と技術を習得させる。
3. 人間を含むグローバルな生物生態環境を、「大地・水・太陽」の自然条件下において、より最適な状態にするための知識を身につけた人材を養成する。

卒業後の進路

就職先の多くは、建設・土木・環境・農林水産関連の企業、国家および地方公務員職関連です。それ以外は、教員、前記以外の企業への就職と、大学院への進学です。

取得可能な学位

学士(農学)

取得可能な資格

中学校教諭一種免許状(理科)

高等学校教諭一種免許状(理科, 農業)

学芸員資格

愛媛大学食育士

技術士補

農業土木プログラムを修了し、技術士会に登録することによって取得できる。

測量士補

卒業後、国土地理院へ申請することによって取得できる。ただし、平成22年度以降入学生は、農業土木プログラムを修了する必要がある。

[ページの先頭へ戻る](#)

専門教育コースのディプロマ・ポリシー(学位授与の方針, 卒業時に必ず身につける能力)

1. 農山漁村地域の生物生産基盤を整備・開発するための知識と技術を修得している。(知識・理解)
2. 農山漁村地域の生活環境を豊かな空間として創造・保全するための知識と技術を修得している。(知識・理解)
3. 修得した知識と技術を応用して、自然条件を最大限に活かしながら農山漁村地域の環境を適切に管理する方策を見いだすことができる。(思考・判断)
4. 地域環境工学に関する諸課題の解決のため、協調性と高い倫理性をもって、自律的・継続的に行動することができる。(関心・意欲、態度)
5. 自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得している。(技能・表現)



[ページの先頭へ戻る](#)

専門教育コースのアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針, 入学時に問われる能力)

農学部は、地域社会や国際社会における食料・資源・環境に関する様々な問題を解決し、自然と人間が調和する循環型社会の創造に貢献できる人材を養成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、また、農学が広範な総合科学であることを考え、食料・資源・環境に関する様々な問題の解決に熱意をもち、多様な能力・適性をもった学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。



(知識・理解)

1. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。
2. 次のいずれかに該当する。
 - A. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの課題を解くことができる。
 - B. 農業・生物資源または工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有している。
 - C. 高等学校で選択履修した教科・科目について、実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(関心・意欲、態度)

地域社会や国際社会における食料・資源・環境に関する様々な問題に関心を持ち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲を持っている。

(技能・表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

[ページの先頭へ戻る](#)

専門教育コースのカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針, カリキュラムの特徴・特色)

カリキュラムの概要

本コースでは、「大地・水・太陽」の自然条件下において、農山漁村地域の生物生産基盤と生活基盤を主として工学的手法を用いて創造・保全・管理する知識と技術を学びます。そのカリキュラムの体系は基礎領域、応用領域、発展・複合領域から構築されています。また、実社会での体験実習を含めた実習・実験・演習と講義を適切に組み合わせることにより、学習効果を高める工夫をしています。さらに、少雨で、中山間地域や地滑り地域が多いという特徴を持つ愛媛県に有効な知識と技術の習得にも重点をおいた教育を行っています。また、インターンシップや講師派遣などで、行政との連携も推進しています。



基礎領域では、水と土の主として物理現象に関する専門基礎的な知識とそれらを測る技能を身につけます。

応用領域では、水と土(土地)と里を資源と位置づけ、基礎領域で学んだ知識を活用して、水管理技術、土地利用技術、そして農山漁村地域を緑豊かで生物のにぎわいのある環境とするための技術を学びます。

発展・複合領域では、化学的、生物学的、さらには社会科学的な手法も駆使して、人間と自然が調和した循環型社会としての農山漁村地域の創造について総合的に考える能力を身につけます。

カリキュラム・マップ

地域環境工学専門教育コース(農業土木プログラム)・カリキュラムマップ (PDFファイル 150KB)

地域環境工学専門教育コース(環境工学プログラム)・カリキュラムマップ (PDFファイル 202KB)

[前のページに戻る](#)[ページの先頭へ戻る](#)